

国際交流

三重大学は、国際交流・国際協力の拡大と活性化を図るとともに国際的な課題の解決に貢献できる人材を養成し、大学の国際化を目指します。

国際交流センター

三重大学国際交流センターは、国際研究部門、国際教育部門、国際サービス部門という3つの部門から成り、三重大学の国際化の要となることを目指し、2005年10月1日に留学生センターを改編し、学内共同教育研究施設として設置されました。

外国人留学生のための日本語教育、英語による国際教育、語学研修、国際インターンシップ、サマースクールなどを行っています。

国際交流センター

国際研究部門

Division of International Research

国際教育部門

Division of International Education

国際サービス部門

Division of International Services

国際キャリアアッププログラム

国際教育交流の一環として、以下の4つのプログラムを推進しています。これら全体を「国際キャリアアッププログラム」と総称しています。

(1) 語学研修

海外の協定校で、英語・ドイツ語・中国語の語学研修を実施しています。

(2) 英語による国際教育科目

①英語によるコミュニケーション能力向上、②留学生と日本人学生が異文化理解を深めること、③国際インターンシップや3大学ジョイントセミナー&シンポジウムへの参加準備、④海外留学の準備などのために、共通教育の統合科目として開講しています。

(3) 国際インターンシップ

タイの協定大学6校と覚書を交わし、学生の相互派遣により就業・研究・講義などの体験研修会を提供しています。

(4) 3大学ジョイントセミナー&シンポジウム

3大学(三重大学、中国・江蘇大学、タイ・チェンマイ大学)を核として複数の大学が参加。人口、食糧、エネルギー、環境などをテーマとし、これらの問題を共有しつつ学生の研究発表の場として、1994年から毎年会場を変えて開催しています。(2008年は、江蘇大学(中国)で開催予定)

APAN国際会議への参加

APAN(アジア太平洋高度研究情報ネットワーク、Asia Pacific Advanced Network)とは、次世代のネットワークやアプリケーションの研究開発のための、アジア太平洋地域を繋ぐ高性能ネットワークであり、三重大学は、本国際会議のワーキンググループ"e-culture"を運営しています。

SOI ASIAの教育プログラム School of Internet (SOI)

インターネット基盤を使って、アジア諸国の高等教育に貢献することを目標としており、アジア11ヶ国20ヶ所の大学や研究機関に授業の配信を行っています。三重大学は、オフィシャル校として、包括的災害科学コンテンツの配信を通してアジアの大学との双方向の学術的な交流を広げています。

遠隔授業を通じたノースカロライナ大学及びミシガン大学との大学間交流

テレビ会議システム(ポリコム)を使い、三重大学とアメリカ・ノースカロライナ大学及びミシガン大学間で遠隔授業を行っています。